

立憲民主党 立憲民主編集部

〒102-0093

東京都千代田区平河町 2-12-4

ふじビル3F

Tel. 03-6811-2301

Fax. 03-6811-2302

福岡県参議院選挙区

第1総支部版

2021. 9. 20



号外

立憲民主

RIKKEN MINSHU



行政監視委員長
参議院議員

人・暮らし・地方が原点。野田国義

「福岡県の皆さん、国民の皆さん、 一緒に変えましょう！」



1区内 坪田すすむ総支部長



4区内 森本しんたろう
総支部長

まっとうな政治に



変えよう。

当たり前の日常を取り戻す。誰も取り残されない社会をつくる。政治を変えなくてはならない。誰とごまかしのない「まっとう」な政治へ。命と暮らしを最優先にする政治へ。そして、支え合い、分かち合える社会へ。ともに変えていきましょう。立憲民主党がその先頭に立ちます。あなたのための政治へ。

立憲民主党
The Constitutional Democratic Party of Japan

野田くによしも 新人候補予定者を 各地で応援しています！



5区内 堤かなめ総支部長



7区内 青木つよし総支部長

■プロフィール■ 1958(昭和33)年生まれ。福岡県立福島高校卒業。日本大学法学部卒業。代議士秘書を経て、34歳で八女市長に初当選。全国最年少市長(当時)として全国的话题を集め、「改革派・市民派市長」として“オープン・フェア・クリーン”の政治姿勢で4期16年市長職を務める。2009年衆議院議員に初当選(3年3ヶ月)、農林水産委員会/理事、福岡県連代表。2013年参院選福岡選挙区で初当選、2019年7月・2期目の当選。これまでに、国土交通委員長、予算委員会/理事、決算委員会/理事、議院運営委員会/委員、総務委員会/委員、消費者問題特別委員会/理事、災害対策特別委員会/理事、国の統治機構に関する調査会/理事、地方制度調査会/委員。議員連盟の活動では、お茶振興議連/事務局長、花き産業振興議連/事務局長、都市農業推進議連/幹事長等を歴任。現在、会派/立憲民主・社会派、参議院/行政監視委員長、国土交通委員会/委員、地方・消費者特別委員会/委員。

野田国義【立憲民主】新型コロナウイルス感染症への取り組み！

現在の状況

(2021年9月15日現在)

脆弱な医療体制

自宅療養者が全国で10万人を超え、入院すべき人が入院できていないやむを得ず患者が自宅療養する場合の医療体制も不十分



そうした結果、
自宅で亡くられる方が相次いでいる

補償なき自粛

感染拡大により様々な事業・雇用に多大な影響が生じているが経済支援や補償が足りない



補償や経済支援の不足が
人流抑制を阻害している

政府に 申し入れ

野田国義と立憲民主党は、在宅医療の拡充、追加の支援策の実施等を厚労省、文科省に申し入れました！



医療ひっ迫地域において、新型コロナウイルス感染症患者が入院できず自宅療養を強いられ、亡くられている方が相次いでいること、人流抑制を実現し新規感染者を減らすためにも、さまざまな影響を受けている方々への必要かつ十分な追加の経済支援等が必要であることを踏まえ、一定の条件のもとでの抗体カクテル療法の自宅での使用許可をはじめ、医療従事者らへの3回目の接種、低所得家庭向けの「子育て世帯生活支援特別給付金」の再支給、「新型コロナウイルス感染症生活困窮者支援金」の要件緩和等、13項目を求めるものです。

在宅医療の拡充、追加支援策の実施等を求める緊急要請

(2021年9月15日提出)

① 医療体制について

- ・新型コロナウイルスの患者が自宅で亡くなることを防ぐため、重症化予防の大きな効果が実証されている抗体カクテル療法を、医師の管理体制が整うこと等を条件に、自宅での使用を許可すること。
- ・新型コロナウイルスの患者の在宅の訪問診療に先進的に取り組む医療機関が赤字になっている事例がある。すでにコロナの在宅医療における診療報酬は引き上げられているが、不十分であるため、更に大幅に引き上げること。
- ・第6波による年末の医療ひっ迫という最悪の事態を生じさせないようにするため、必要な病床数、宿泊施設数を公表し、確保すること。



在宅医療の拡充、追加支援策の実施等を求める緊急要請

(2021年9月15日提出)

② 今後のワクチン接種について

- ・希望者への2回目のワクチン接種を急ぐこと。ワクチン接種後時間が経過すると、抗体価が大幅に下がるとの調査結果もあるため、希望者への2回目接種終了を前提に、エビデンスを確認し、諸外国にも配慮しながら、希望する国民への3回目の接種(ブースター接種)について早急に検討すること。
- ・医療従事者への3回目接種を実施すること。また、そのスケジュールを明示すること。
- ・全国の自治体から希望する量のワクチンが来ないため、接種が進まない状況がある。自治体が希望する量のワクチンを提供できるようにする時期、希望する国民がワクチン接種を終了できる時期が分かるように、工程表を早急に示すこと。



在宅医療の拡充、追加支援策の実施等を求める緊急要請

(2021年9月15日提出)

③ 現場や暮らしを支える支援について

- ・早急に低所得家庭向けの「子育て世帯生活支援特別給付金」(児童1人5万円)を再支給すること。
- ・低所得者やコロナにより大幅減収の困窮者(合計2700万人)に、10万円の給付金を支給すること。
- ・介護報酬、障害福祉サービス等報酬、診療報酬の上乗せ特例を10月以降も延長すること。
- ・「新型コロナウイルス感染症生活困窮者支援金」の要件が厳し過ぎることにより、想定1割しか支給されていない(7月末時点)。支給の障害と自治体から指摘されている、ハローワーク訪問などの求職要件と、預貯金100万円以下の資産要件を早急に無くすこと。



在宅医療の拡充、追加支援策の実施等を求める緊急要請

(2021年9月15日提出)

④ 学びの確保について

- ・再開される小学校休業等対応助成金・支援金について、雇用形態や企業規模にかかわらず、支給対象とするとともに、4月以降の休業に遡って適用されるようにすること。また、事業主からの了解が無くても、休業支援金・給付金と同様に、労働者が単独で申請し、その後、労働局が事業主に休業を確認する形での申請も可能にすること。
- ・小中学校において、感染不安等自らの判断で登校しない児童生徒が、欠席や出席停止ではなく、出席扱いとなるようにすること。

⑤ その他

- ・立憲民主党「3週間で取り組む「命と暮らしを守る」4つの緊急提言」に盛り込まれているその他の所管事項について対応すること。



さらに立憲民主党の活動を知る！...



いろいろなご要望やお困りのこと、国会見学をご希望の方はご遠慮なく下記へご連絡ください！

野田くによし後援会／立憲民主党福岡県参議院選挙区第1総支部 メール：info@nodakuniyoshi.net

野田くによし
事務所

【国会】〒100-8962
東京都千代田区永田町 2-1-1
参議院議員会館 323 号室
Tel: 03-6550-0323
Fax: 03-6551-0323

【福岡】〒812-0044
福岡県福岡市博多区 4-29-51
河野ビル 2 階
Tel: 092-645-2557
Fax: 092-645-2558

【八女】〒834-0031
福岡県八女市本町 2-81
Tel: 0943-24-4630
Fax: 0943-24-4631



討議資料